

GSJ 地質ニュース

GSJ CHISHITSU NEWS

～地球をよく知り、地球と共生する～

2013

7

Vol. 2 No.7

特集：第 21 回 GSJ シンポジウム
古地震・古津波から想定する南海トラフの巨大地震



特集：第 21 回 GSJ シンポジウム 古地震・古津波から想定する南海トラフの巨大地震

新しい南海トラフの地震活動の長期評価について	吉田康宏	193~196
地形・地質記録から見た南海トラフの巨大地震・津波（東海地域の例）	藤原 治	197~200
地形・地質記録から見た南海トラフの巨大地震・津波（南海地域の例）	穴倉正展	201~204
地震考古学から見た南海トラフの巨大地震	寒川 旭	205~207
1707 年宝永地震による浜名湖北部の沈降と大坂の被害数	矢田俊文	208~211
南海トラフ三連動型地震・M9 はあり得るか？	瀬野徹三	212~214
現代地震発生物理学に基づく海溝型古地震研究の新展開	安藤亮輔	215~219
第 21 回地質調査総合センターシンポジウム ポスター発表（要旨集）		220~221

誕生石の鉱物科学 — 7 月 ルビー —	奥山康子	222~223
コラム / 編集後記	澤井祐紀	224

表紙説明

高知県土佐清水市落窪の海岸で見られる隆起波食棚

過去の南海トラフ沿いの地震に伴って隆起，離水したと考えられる波食棚．通常は平均海面付近で形成される平坦面が，現在は標高約 1.0 ~ 1.2 m の高さに分布している．この地域は 1946 年昭和南海地震の際にも隆起しているが，この写真の隆起波食棚がいつ離水したのかは今のところ不明である．基盤は新第三系三崎層群の砂岩泥岩互層からなり，生痕化石や化石蓮痕なども観察される．（写真・文：穴倉正展¹⁾ 1) 産総研 活断層・地震研究センター）

Cover Page

Uplifted wave-cut-bench in the coast of Ochikubo, Tosashimizu City, Kochi Prefecture .

(Photograph and Caption by Masanobu Shishikura).